

平成31年度（令和元年度）

シラバス

青翔開智中学校

第1学年

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	現代文	3	中学1年	必修

科目の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。				
学習内容の概要	話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと的能力を育成するための事項について指導する。なお、授業冒頭には読解、漢字の小テストをそれぞれ週1回程度実施する。				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重しようとしているか。	目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向を捉えて話し合う能力を身に付けるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとしているか。	目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えた確に書く能力を身に付けるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとしているか。	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとしているか。	伝統的な言語文化にふれ、言葉の特徴やきまりや漢字などについて理解するとともに、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して使用しているか。
評価の方法	以下の内容を総合的に判断して評価する。 定期考査、小テスト、提出物、授業態度				
教科書・教材等	現代の国語1(三省堂)、現代の国語完全準拠ワークブック1(三省堂)論理エンジンOS1・OS2(旺文社)、新明解国語辞典(三省堂)、プリント、視聴覚教材				
授業形態	クラス別				

年間学習計画															
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点						
1学期	4	朝のリレー	読む(韻文)	6					○						
		スピーチ	話す・聞く												
	5	「クジラの飲み水」	読む(説明的文章)	5											
		「空中ブランコ乗りのキキ」	読む(文学的文章)	6											
	6	質問	話す・聞く	4											
	単元テスト(6月中旬)														
	7	ビブリオバトル	話す・聞く	9											
2学期	9	模試対策		5											
		「食感のオノマトペ」	読む(説明的文章)	7											
	10	「玄関扉」	読む(説明的文章)	12											
		討論ゲーム	書く												
	単元テスト(10月中旬)														
	11	「字のない葉書」	読む(文学的文章)	5											
		「少年の日の思い出」	読む(文学的文章)	9											
単元テスト(12月上旬)															
12	読書郵便	書く	6												
3学期	1	「この小さな地球の上で」	読む(説明的文章)	10											
		模試対策													
	2	「トロッコ」	読む(文学的文章)	8											
	単元テスト(2月下旬)														
3	グループ新聞	書く	8												

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	古典	2	中学1年	必修

科目の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。				
学習内容の概要	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について指導する。なお、授業冒頭にはフラッシュカードで百人一首に親しみ、定期的の確認テストを実施する。				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重しようとしているか。	目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をたずねて話し合う能力を身に付けるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとしているか。	目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考へて的確に書く能力を身に付けるとともに、進んで文章を書き考へてまとめようとしているか。	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとしているか。	伝統的な言語文化にふれ、言葉の特徴やきまりや漢字などについて理解するとともに、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して使用しているか。
評価の方法	単元テスト	60%	授業態度等	40%	
教科書・教材等	現代の国語1(三省堂)、ワーク中1国語(三省堂)、練成口語文法1・2(育伸社)、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)、新明解国語辞典(三省堂)、古語辞典(三省堂)、新漢語林(大修館書店)、五色百人一首1分間フラッシュカード				
授業形態	クラス別				

年間学習計画										
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点	
1学期	4	文節・単語	言葉の特徴やきまり	24						
	5	文節のはたらきと相互の関係								
		文の成分・連文節								
	6	指示語・接続語								
単語の分類と品詞										
7	五色百人一首(橙20-11)	伝統的な言語文化								
2学期	8	名詞・動詞・形容詞・形容動詞	言葉の特徴やきまり	26						
	9									
	10	五色百人一首(橙11-1)	伝統的な言語文化							
		月を思う心								
	11	古典の仮名遣い	伝統的な言語文化							
12	竹取物語									
		五色百人一首(黄緑20-11)								
3学期	1	漢文の読み方	伝統的な言語文化	20						
	2	故事成語	伝統的な言語文化							
	3	五色百人一首(黄緑11-1)	伝統的な言語文化							
書写		書写								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	地理	2	中学1年	必修

科目の目標	広い視野に立って、地理的分野に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的に考察する力をつける。			
学習内容の概要	世界全体の姿、気候、生活習慣などの概要を捉えた後、日本の諸地域について様々な視点から考察する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	知識・理解
	地理的事象に関する関心を高め、意欲的に追求し、社会を構成する一員としての自覚と責任を考えることができる。	地理的事象から課題を見いだし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。	地理的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。	地理的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につけ、社会生活の中で活用することができる
評価の方法	定期考査	60%	平常点	40%
教科書・教材等	新しい社会地理(東京書籍)・中学校社会科地図(帝国書院)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	○世界の姿	・地球や世界をながめて	4	○			○	情リテ
			・世界の略地図と地球儀	6					
	5		・様々な地域の暮らし	4					
	6		・世界の気候	6					
			・世界の衣食住	4					
			・世界の果てまでイッテ9!	6					
2	7	○世界の諸地域	・アジア州	6	○			○	情リテ
			気候・地形・産業・文化・世界の中のアジア						
	8		・ヨーロッパ州	6					
			気候・地形・産業・文化・ヨーロッパの現在						
	9		・アフリカ州	6					
		気候・地形・産業・文化・植民地支配の歴史							
	10	・北アメリカ州	6	○			○	情リテ	
		気候・地形・産業・文化・アメリカ合衆国							
	11	・南アメリカ州	6						
		ブラジルの環境							
	12	・オセアニア州	6						
		気候・地形・産業・文化・移民と多文化社会							
3	1	○日本の姿	・日本の位置、範囲、都道府県、略地図	6	○			○	データ
	2		・世界から見た日本の自然環境	6					
	3		○世界から見た日本の姿	6					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	歴史	2	中学1年	必修

科目の目標	日本の国土と歴史に関する理解を深め、公民としての基礎的教養を身につける			
学習内容の概要	1年次は古代から近世までの歴史を学習し、日本の移り変わりや世界の流れを関連付けながら多面的に考察していく			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	歴史的事象に関する関心を高め、意欲的に追求し、社会を構成する一員としての自覚と責任を考えることができる。	歴史的事象から課題を見だし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。	歴史的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。	歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につけ、社会生活の中で活用することができる
評価の方法	定期考査 60%	図書館利用学習 授業態度など 40%	%	%
教科書・教材等	新しい社会歴史(東京書籍)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	○歴史の流れ	・歴史学習のはじめに	3					
			・歴史の大きな流れを見てみよう	3					
	5	○文明の起こりと日本の成り立ち	・四大文明と日本の成り立ち	4					
			・縄文文化と弥生文化	4					
6		・聖徳太子と大化の改新	4						
		・平城京と天平文化	4						
7	○古代国家の歩みと東アジア世界	・平安京と東アジアの変化	4						
		・摂関政治と文化の国風文化	4						
2	8			2					
	9	○武士の台頭と鎌倉文化	・武士の成長	4					
			・武家政権の成立	4					
	10	○東アジア世界とのかかわりと社会変動	・鎌倉時代の文化と宗教	2					
			・元寇、南北朝～室町幕府、東アジアとの交流	4					
	11		・応仁の乱～戦国時代	4					
・ヨーロッパとの出会いと全国統一			4						
12		・ヨーロッパ文化の伝来とキリスト教	4						
		・信長、秀吉の統一事業	4						
3	1	○江戸幕府の成立と鎖国	・兵農分離と桃山文化	4					
			・江戸幕府の支配体制と身分制度	4					
			○産業の発達と幕府の政治の動き	4					
2		・享保の改革と元禄文化	4						
		・田沼の政治と寛政の改革	4						
3		・化政文化と天保の改革	4						
			4						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学	5	中学1年	必修

科目の目標	文字を含んだ計算やともなって変化する数量について学ぶことで、数や数量関係に関する抽象的な概念を身につけ、物事をより一般的に捉える力を習得する。また、図形の性質を通じて定義や公理、定理などの事柄を理解し、論理的に事柄を説明する力を身につける。			
学習内容の概要	「正の数と負の数」では負の数の範囲まで数を拡張し、「式の計算」では数を抽象化する。また、それぞれの四則演算に取り組む。「方程式」「不等式」では、等式や不等式の性質をもとに一次方程式、連立方程式、一次不等式、連立一次不等式の解法を学ぶ。「1次関数」では数量の変化をグラフに表し、いろいろな事象についてグラフを用いて考える。「資料の整理と活用」では様々な資料の活用方法を学ぶ。「平面図形」「空間図形」では基本的な図形の性質を学び、移動の概念を用いて角の大きさや面積・体積等を深く理解する。「図形と合同」「三角形と四角形」では定義や定理をもとに、様々な事象を証明する。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。	事象を数学的に捉えて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身につけている。	事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	テスト 40%	数学的活動 40%	態度 (自己評価 含) 20%	
教科書・教材等	数研出版 数学1、人工知能型教材Qubena			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	正の数・負の数(中1)	数の概念を負の数まで拡張し、実数の範囲内で四則演算を行う。さらに、反対の量や基準値との違いを正負の数を用いて表し、負の数を活用する。	15					
	5	文字と式(中1)	文字を用いて数量を表し、物事を一般化して捉える。文字式を利用して、事柄を説明する。	15					
	6	方程式(中1)	一次方程式を扱う。等式の性質を理解し、未知数を求める方法を学ぶ。また方程式を用いて様々な問題を解く。	15					
	7	比例と反比例(中1)	ともなって変わる2つの数の関係について、正比例、反比例を扱う。数量関係を式やグラフに表したり、グラフを用いて様々な問題を解いたりする。	20					
8									
2	9	平面図形(中1)	平面図形の基礎知識を整理し、図形の理解に必要な語句や記号、さらに概念を学ぶ。	15					
	10	空間図形(中1)	平面から空間へ発展し、空間における図形の位置関係を調べたり立体の体積、表面積を求めたりする。さらに、図形に対するさまざまな見方を学ぶ。	15					
	11	資料の整理(中1)	様々な資料を用いて表やグラフに表す方法を学ぶ。	15					
		式の計算(中2)	多項式の計算について学びを深める。	15					
12	連立方程式(中2)	二元一次方程式を扱う。代入法や加減法を用いて、2つの式を同時に満たす値を求める。	20						
3	1	1次関数(中2)	ともなって変わる2つの数の関係について、1次関数を扱う。正比例の発展であることを意識し、1次関数のグラフの性質を学ぶ。	20					
	2	図形の性質と合同(中2)	角の性質を理解し、大きさを求める。また、仮定と結論を考え、三角形の合同条件等を用いて、さまざまな事柄を証明する。	15					
	3	三角形と四角形(中2)	三角形や四角形の性質をもとに様々な事柄を証明する。	10					

教科名	科目名	時間数	対象学年	履修形態
理科	科学	4	中学1年	必修

科目の目標	目的意識を持って観察・実験・調査・発表を行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。自然の事物・現象についての知識・理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。							
学習内容の概要	生物分野:植物のくらしとなかま 地学分野: 活きている地球 化学分野: 身のまわりの物質 物理分野: 光・音・力による現象							
評価の観点	関心・意欲・態度		判断・思考		観察・実験の技能・表現		知識・理解	
	自然科学の事物・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。		自然科学の事物・現象に問題を見だし、事象を科学的に考え、判断できる。		自然科学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。		自然科学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。	
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%	成果物	20%	授業態度	20%
教科書・教材等	啓林館 『未来へひろがるサイエンス1』 『中学詳説用語&資料集理科』							
授業形態	一斉							

年間学習計画										
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	...	観点
1	4	ガイダンス(科学,生命分野)	科学とは	6				○		
		1章 花のつくりとはたらき	身近な生物の観察,花のつくりとはたらき	8						
	5	2章 水や栄養分を運ぶしくみ	葉のつくりとはたらき,根・茎のつくり	8						
		3章 栄養分をつくるしくみ	光合成と呼吸	8						
	6	4章 植物のなかま分け	種子をつくらない植物の分類	8						
		探究的活動	植物の分類のまとめ	3						
	7	ガイダンス(地球分野)		6						
2	8	1章 大地がゆれる	地震のゆれの伝わり方,地震のゆれの大きさ	16				○		
		2章 大地が火をふく	火山	8						
	9	3章 大地は語る	地層のでき方,地層から分かる過去のようす	8						
		ガイダンス(物質分野)	物質の性質・密度	8						
	10	1章 いろいろな物質とその性質	有機物と無機物・プラスチックの分類	6						
		2章 いろいろな気体とその性質	気体の性質と発生方法,気体の問題演習	6						
	11	3章 水溶液の性質	水溶液の性質と溶液の濃度	6						
		4章 物質のすがたとその変化	溶解度と溶解度計算,物質の状態変化	6						
	12	探究的活動	科学史	8					○	
		ガイダンス(エネルギー分野)	目に見えないものを表現する	4						
3	1	1章 光による現象	光の直進と反射,光の屈折,凸レンズ	8						
		2章 音による現象	音の伝わり方,音の大小と高低	8						
	2	3章 力による現象	色々な力,力の大きさとしの表し方,圧力	8						
		探究的活動						○		
	3	探究的活動	力を表して、動きをコントロールしよう	8						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
音楽	音楽	1	中学1年	必修

科目の目標	リズムや旋律・ハーモニーなど、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や良さを感じ取って、生き生きと表現活動を行うこと。			
学習内容の概要	一人ひとりの音楽に対する関心の違いや知識の差を個性として認めつつ、様々な時代の音楽の様式に触れながら、その楽曲を形づくっている諸要素や良さを感じ、関心や意欲を高め、表現の工夫を深める。			
評価の観点	関心・意欲・態度	音楽的な甘受と表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	①音楽への興味関心が授業に積極的に取り組む態度となっている。 ②グループで協力し合い、協調性を持って取り組む姿勢を持っている。	①曲の持っている良さや特質に関心を持ち、自己のイメージを生かして表現している。 ②曲想に相応しい実現を工夫し、演奏表現に生かしている。	①歌唱に於いて発声や言葉の意味を知覚し表現している。 ②器楽において演奏技術の習得や音色の工夫に励んでいる。	①曲の持っている情景や心情を感じ取り、味わいながら聴いている。 ②作曲の背景や作風・演奏構成・作品を構成する諸要素を知覚し、理解を深めている。
評価の方法	定期考査 60%	実技テスト 25%	授業態度 15%	
教科書・教材等	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)、アルトリコーダー			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	○パフ	拍の流れによって明るい声で歌う。	6				○	
	5	○「春」より 第1楽章	曲の構成、曲想の変化を学ぶ。						
	6	○主人は冷たい土の中に (リコーダー合奏)	曲の良さやまとまりを感じ取って表現する。	5					
	7	○聖者の行進 (リコーダー合奏)	曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って、演奏や合唱をする。	3					
	8								
2	9	○カリブ夢の旅 ○魔王	フレーズの特徴を生かした表現を工夫する。 曲の持っている情景や心情を感じとる。	4				○	
	10	○Mishael, Row The Boat Ashore	アカペラ合唱をし、ハーモニーについて考えて歌う。	4					
	11	○六段の調 ○巢鶴鈴慕	作品の背景やそれをかたちづくっている諸要素について学ぶ。	4					
	12	○赤とんぼ ○日本の伝統音楽	詩や曲の雰囲気にあった声で言葉を大切に歌う。	3					
	1	○リコーダー曲	曲想を感じ取って速度や強弱の変化を生かした演奏表現をする。	4					
2	○ワークシート・音楽の基礎知識	音楽用語・記号の読み方や意味を理解する。	5						
3	○サウンド・オブ・ミュージック	DVD鑑賞を通して、ミュージカルの構成や良さを感じとる。							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健体育	3	中学1年	必修

科目の目標	①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「水泳」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、健康・安全に留意して運動をしようとする。	運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	【関心・意欲・態度】安全に配慮して行う、挨拶や声かけ、協調性 【知識・理解】単元ごとのペーパーテスト(年間10回) 【技能】単元ごとのスキルテスト(年間10回) 【思考・判断】課題解決に向けて、質問したりアドバイスをすることができる。			
教科書・教材等	保健体育(大修館)			
授業形態	2クラス合同、男女別			

年間学習計画									
学期	月	題材	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	体づくり運動	・集団・整列・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・体力テスト	8					
	5	体育理論 球技(ハンドボール)	・パス、シュート、ドリブル等の基礎練習 ・ゲーム	12					
	6	陸上	(長距離走)リラックスした走り、自分にあったピッチとストライドを見つける。	10					
	7	球技(バレーボール)	・対人パス、ゲームのルールを理解する。 ・ゲーム	10					
	8								
2	9	球技(ソフトボール)	・打撃、捕球、送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備の理解 ・ゲーム	10					
	10	球技(バスケットボール) 体育理論	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・自分のシュートフォームをiPadで撮影して改善点を見つける。	10					
	11	球技(バドミントン) 体育理論	・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	8					
	12	武道(空手)	・基本形 ・約束組手	8					
3	1	ダンス 保健	(現代的なリズムのダンス) グループで曲を選択し、オリジナル練習をして発表。	14					
	2								
	3	器械運動 卓球	(マット運動)グループで教え合い、技の練習。 (卓球) ・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	15					○

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健体育	3	中学1年	必修

科目の目標	①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「水泳」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、健康・安全に留意して運動をしようとする。	運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	【学びに向かう人間性】安全に配慮して行う、挨拶や声かけ、協調性 【知識】単元ごとのペーパーテスト(年間10回) 【技能】単元ごとのスキルテスト(年間10回) 【思考・判断・表現】課題解決に向けて、質問したりアドバイスをすることができる。			
教科書・教材等	保健体育(大修館)			
授業形態	2クラス合同、男女別			

年間学習計画									
学期	月	題材	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	体づくり運動	オリエンテーション、軽スポーツ、集団行動、補強運動、新体力テスト	9					
	5	球技 陸上競技 [中距離]	AIアプリを活用しフォームの分析、レペティション、インターバル、1500mタイム測定	9					
	6	球技 ゴール型 [バスケットボール]	パス練習、ドリブル練習、シュート練習、試合	12					
	7	球技 ベースボール型 [ソフトボール]	・打撃・捕球・送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備 ・ゲーム	6 3					
2	8	球技 ネット型 [バドミントン] 体育理論	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	9					
	9								
	10	球技 ゴール型 [サッカー]	パス練習、ドリブル練習、シュート練習、試合	12					
	11	球技 ゴール型 [ハンドボール] 体育理論	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・自分のシュートフォームをiPadで撮影して改善点を見つける。	12					
	12	ダンス [ジャズダンス] 保健分野	基本動作の習得、発表	9					
3	1	球技 ネット型 [卓球] 保健分野	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	9					
	2	武道 [空手] 保健分野	・基本形 ・約束組手	9					
	3	器械運動 [マット、跳び箱] 保健分野	基本的な技の習得	6				○	

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
技術	技術	1	中学1年	必修

科目の目標	情報機器の適切な利用ができるようになる。 工夫して想像することの大切さを感じ、技術的なものの見方を身につける。			
学習内容の概要	情報機器の適切な使い方を学ぶ。PCやネットワークについて理解を深める。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解
	情報に関する技術について関心をもっている。	情報に関する技術を適切に評価し活用できるか。	目的や条件に応じて、情報手段を適切に選択し、活用できている。	情報に関する技術と、社会や環境とのかかわりについて理解している。
評価の方法	ポートフォリオ	成果物	発表	
教科書・教材等	技術・家庭(技術分野) (開隆堂)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	ガイダンス	年間の学習スケジュールをイメージする。	3	○				
	5	情報モラルと知的財産	情報機器やインターネットを使う上でのマナーやモラルを学ぶ。	4					
	6	プログラムによる計測・制御	ビジュアルプログラミング環境を使用し、プログラミングの基礎を学ぶ。	3					
	7			3					
2	8	情報とわたしたちの生活	身の回りの情報技術について学ぶ。生活の裏側に隠された情報機器やネットワークを知る。	0					
	9			4					
	10			4					
	11			3					
	12			4					
3	1	ネットワークと情報セキュリティ	情報セキュリティの必要性を理解し、情報の安全性を学ぶ	3					
	2	プログラムによる計測・制御	プログラミングで制御可能なロボットをビジュアルプログラミングで制御する。	4					
	3			3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	家庭	1	中学1年	必須

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。			
学習内容の概要	衣生活について自分らしく着ること快適に着るための知識と技能を身につけ、生活を豊かにする物づくりをする。 また住生活については住まいのはたらきや住空間の使い方を考え、快適な住まいについて学習する。			
評価の観点	関心・意欲	創意工夫	技能	知識理解
	授業の準備、態度、忘れ物有無、ノート整理、課題提出物の状況、自主的な発表	作品への工夫	工具・用具の正しい使い方、作品完成度	授業中の応答、定期テスト
評価の方法	定期考査	60%	授業態度等	40%
教科書・教材等	「技術・家庭 家庭分野」開隆堂出版			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1 学期	4	家庭科ガイダンス		1					
		衣生活	衣服のはたらき	1					
	5	日常着の活用	自分らしく目的に合わせた着方	2					
		〃	衣服の活用と選び方	2					
	6	〃	カラーコーディネートシール	3					
2 学期	7	生活を豊かにする物を作る	ブックカバーを作ろう・ミシン手縫い	3					
			(裁断・しるし付け)～(本縫い)						
	8	〃	(本縫い)～(仕上げ)	3					
	9	〃	ミシンの操作						
	10	〃	(アレンジ)	1					
11	日常着の手入れ	(仕上げ)	1						
		衣服の表示	2						
		いろいろな繊維	2						
12	〃	衣服の洗濯	2						
		アイロンかけ	1						
3 学期	1	身近な消費生活と環境	商品の選択と購入	2					
		衣生活	よりよい消費生活のために	1					
	2	生活を豊かにする物を作る	座布団クッションを作ろう・手縫い	2					
		〃	(並縫い)						
3	食生活	(かがり縫い)～(仕上げ)	2						
		郷土の食材と食文化	調理実習	2					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
外国語	英語	6	中学1年	必修

科目の目標	英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、オンラインスピーキングトレーニング・図書館利用学習を併用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度の向上促進を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の習得と定着を目指す。初歩～基本的な英語を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意向を理解すること、また初歩～基本的なレベルの英語を用いて自分の考えなどを書いたり話したりできるようにする。			
学習内容の概要	上記の目標を達成するために、テキストを使用しての文法学習に加え、フォニックス・オンラインスピーキングトレーニング・多読活動・図書館利用学習での多様な成果物作成と発表を通して、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の素地の習得と定着を図る。英語学習の導入として1学期中はフォニックス学習を行い、英語独特の音素や韻律を習得する。また、2学期実施予定のオンラインスピーキングトレーニングでは、外国人講師とのマンツーマンでの会話練習を積み重ねることにより、異文化を持つ人と共通言語である英語で対話することを恐れず積極的に発話する姿勢を身につけること、相手からの質問に対する素早い応答に加え、答えに対する理由づけのような「プラスワンフレーズ」を定着させ、流暢さの向上を主な目標としたい。本学年在籍中に英検4級取得を目指す。			
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・読むこと・書くこと)	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	間違えることを恐れずに積極的に、各種活動へと取り組んでいるか。実践的な対話場面で流暢に発話・応答できるか。	当該レッスンにおける文法事項を含む文を正しく話したり音読したり、書いたりできるか。得た知識を図書館利用学習の成果物に活用できているか。	当該レッスンにおける文法事項を含むぶぶんを正しく聞き取ったり読み取ったりできるか。	当該レッスンにおける文法事項や扱われた語句・表現、発音・強勢・イントネーションについての知識があるか、ネイティブスピーカーだけではない多様な英語に対し理解しようとする意欲があるか。
評価の方法	図書館利用学習での成果(演劇・レポート・発表など) 提出物 全活動における意欲と態度	40%	単元末テスト	60%
教科書・教材等	New Crown I (三省堂) New Treasure English Series Stage1 Second Edition, New Treasure English Series stage 1 文法問題集(以上、Z会) New Treasure English Series Stage 1 Second Edition Speaking B(予定)(Z会)			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画										
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点	
1	4	オリエンテーション	評価等の説明	1						
	5	発音 フォニックス 多読	アルファベット 子音・母音 図書館利用学習:辞書	64				○	情報リテ	
	6		1音節語の発音及びスペリングルール 音節区切り・語アクセント・文アクセント							
	7		絵本読み聞かせ練習 マザーグース ELIZA ENGLISH SCHOOL主幸前田一枝先生来校予定					○	創造・表現	
2	8	多読	絵本読み聞かせ練習	3	○			○	情報リテ	
	9	New Treasure 1 Lesson 1-2	Be動詞の文1、Be動詞の文2	20						
	10	New Treasure 1 Lesson 3-4	一般動詞の文1、単数と複数	20						
		New Treasure 1 Lesson 5-6	一般動詞の文2・疑問詞、疑問詞2 図書館利用学習:オリジナル生物を考えよう	26	○			○	情報リテ	
	11	New Treasure 1 Lesson 7-8	命令文・canを用いた文、現在進行形	20						
	12	Online Speaking Training	オンラインスピーキングトレーニング受講 (計8回/10月～12月までを予定)	8		○				
3	1	New Treasure 1 Lesson 9-10	一般動詞の過去形、Be動詞の過去形 図書館利用学習:日本文化を伝える日記を書く	25				○	情報リテ	
	2	New Treasure 1 Lesson 11	未来を表す表現(be going to)	10						
			図書館利用学習:小芝居プロジェクト	9				○	表現・創造 クリティカル	
	3		図書館利用学習:多読本紹介を聞く	1				○	表現・創造 クリティカル	
		New Crown I	図書館利用学習:レポート 長文	9				○	ロジカル	

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
道徳	道徳	1	中学1年	必修

科目の目標	道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度など の道徳性を養成すること。特に、道徳的価値、およびそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深化させることで、道徳的実践力を育成すること。			
学習内容の概要	①主として自分自身に関すること、②主として他の人とのかかわりに関すること、③主として自然や崇高なもののかかわりに関すること、④主として集団や社会とのかかわりに関することについて、様々な視点・手法でアプローチする。特に中学1年次は「Diversity & Inclusion」の第Ⅰ期として、身近な多様性を中心に学習する。			
評価の観点				
評価の方法	数値等による評価はしない。			
教科書・教材等	新しい道徳 中学校			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント・評価等				
					プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	Social Skill Training I	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	4					
	5	Diversity & Inclusion I	鳥取県の「手話普及支援員派遣制度」を利用して、地域のろう者と交流する中で、手話およびろう文化について学習する。また、鳥取県立聾学校との学校交流を実施する。	7		○	○		
	6								
	7	Social Skill Training I	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	7					
2学期	9	Social Skill Training I	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	7					
	10	Diversity & Inclusion I	鳥取県の「学校交流等による障がい者スポーツ振興事業」を利用して、鳥取県立盲学校と合同でゴールボール・サウンドテーブルテニス・フロアバレーボールの体験を実施する。また、鳥取県立盲学校との学校交流を実施する。さらに、盲ろう・カラーユニバーサルデザインについても学習する。	10		○	○		
	11								
	12								
3学期	1	Diversity & Inclusion I	鳥取市社会福祉協議会の「福祉体験事業」を利用して、車椅子体験および高齢者擬似体験を実施する。また、鳥取県の「人権学習講師派遣事業」もしくは鳥取県障がい者スポーツ協会との協働で、車椅子バスケットボール・ボッチャの体験を実施する。	7		○			
	2								
	3					○	○		

領域	名称	単位数	対象学年	履修形態
総合的な学習の時間	探究基礎 I	2	中学1年	必修

科目の目標	創造的思考でゼロから1を生み出すプロセスを体感し、社会で実践する力の基礎を構築する。
学習内容の概要	ブレインストーミングやマトリックスなどのアイデア発想ツールを活用して創造的なアイデアを出す方法論を学習します。アイデアを発信するためのプレゼン技法(ゴールデンサークル)やプレゼン資料をチームで作成する方法を学び有識者へ向けてプレゼンテーションを実施します。有識者からフィードバックを受けたのち、図書館で資料調べや銀行からの収支計画レクチャーを受け、アイデアを社会実装できる内容へと昇華させます。最終プレゼンで優勝したチームのアイデアをクラス全員で実現することで社会実装する力の基礎を構築します。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデア発想ツールを活用できたか。 ・チームで協力して作業できたか。 ・質問者の指摘に対応できる根拠を示せたか。 ・収支計画を示すことができたか。 ・他チームの発表に疑問をもち、質問することができたか。 ・クラスで協力して社会実装できたか。
評価の方法	ポートフォリオ 成果物 発表
教科書・教材等	毎回の活動をiPadに記録(ポートフォリオ)していきますのでiPadを忘れないように。
授業形態	一斉

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	オリエンテーション	全体スケジュール, レゴでペルソナ作り	6					
		IDEA Camp	IDEA Camp						
	5	思考ツール	マインドマップ	6	○	○			
		新聞社講演会		4				○	
	6	フィールドワーク, 講演会	大丸見学, 大丸担当者講演会	4				○	○
		思考ツール	ブレインストーミング(体験と地域)	6					
	7	思考ツール	マトリックス	2					
2	8	思考ツール, コンセプト設定	コンセプト創造・5W2H	8					
		調査	フィールドワーク(周辺調査等)	8				○	
	9	プレゼン準備	ゴールデンサークル・プレゼン資料作成	4					
	10	中間プレゼンテーション	プレゼン資料作成・中間発表	4	○				
	11	根拠調査	図書館ガイダンス・県立図書館へ調査	8					○
		収支計画	鳥取銀行ワークショップ	4				○	
	12		収支計画作成	4					
3	1	最終プレゼンテーション	プレゼン資料作成 最終プレゼンテーション	8	○ ○				
		社会実装準備	社会実装準備	4					
	3	社会実装	社会実装体験	6				○	